

塩尻市ゼロカーボンシティ宣言

～塩尻市ゼロカーボンシティから生まれる多彩な暮らしの実現に向けて～

近年、世界各地で地球温暖化を起因とする気候変動の影響により、災害並みの猛暑や記録的な豪雨など異常気象が頻発し、自然災害が激甚化するなど、私たちの日常生活に深刻かつ生命に危険さえ感じる影響が及ぼされています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を産業革命前と比べて1.5℃に抑える努力をする」目標が世界で共有され、我が国においても、2020年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、さらに翌年には、「2030年度までの温室効果ガス削減目標を2013年度比46%削減する。」を表明し、地球温暖化対策の強化が図られてきております。

塩尻市は、自然豊かな高ボッチ高原や北アルプスの山々に囲まれ、分水嶺から育まれる清浄な水と緑がおりなす田園風景が広がり、古から栄えた平出遺跡、江戸時代の面影を色濃く残す奈良井宿、ワインやブドウ、伝統工芸品など、自然・文化・歴史・伝統が身近に感じられるまさに「ふるさと」です。

我々は、先人たちが守り育ててきた恵み豊かな自然と伝統ある文化、街並みを次代に継承し、環境と調和した脱炭素社会の実現及び生物多様性の確保をめざし、将来に対して持続可能な暮らしやすい塩尻を引き継ぐ責務を負っています。

本年7月には、「塩尻市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を改定し、2050年度までに「二酸化炭素排出量実質ゼロ」を長期目標として掲げ、市民・事業者・行政など多様な主体が力を合わせ「塩尻市ゼロカーボンシティ」から生まれる多彩な暮らしの実現に向け、再生可能エネルギーの導入や省資源・省エネルギーを全力で取り組むことをここに宣言します。

令和5年(2023年)11月27日

塩尻市長 百瀬 敬